



Narashino International Association

NIA SQUARE ナショナルスクエア

第13号

1991年3月1日発行

（編集）

習志野市国際交流協会

特 集

青年海外協力隊／ネパール・インドネシア・バングラデシュ

ワールド・ウォッチング

6ヶ月間アメリカ滞在記

タスカルーサ通信

姉妹都市交流の絆「ふれあい橋」

コ ラ ム

新・東西南北見聞録

N.I.A. Information

Take a walk in Narashino.

会 員 紹 介

こんにちは、コ・ン・ニ・チ・ワ

Let's チャレンジ

ザ・英文クロスワード パズル

活 動 報 告

機内食ツアー／クリスマスパーティ／会員のつどい／もちつき大会／語学交流講座

マサユキ

青年海外協力隊

মেরিটা

青年海外協力隊 (Japan Overseas Cooperation Volunteers)は、本誌8号で紹介した国際協力事業団の事業のひとつで、政府開発援助の一端を担っています。活動が始まってから25年経ち、1万人以上の隊員が、アジア、アフリカ、中東、中南米、大洋州の開発途上国の人々のために、技術や技能を生かし、地域に応じた民衆国際協力活動をしてきました。若者が相手の文化に溶け込み、共に考え汗をかき学んでくる協力隊の場合、

こんには
☆ナマステ、ネパール ■■■ ■

もりた まさゆき
森田 昌之

ネパールは、北に8,000m級ヒマラヤの山々が連なり、1,000m～2,000mの中部山岳地帯を経て、南に100m以下の平原が続いています。工業はなく米作などが主の、人口1,700～2,000万人の国です。都内の私立



○ふだん着の1、3年生の姉妹

中学校の理科の教師をしていた森田さんの赴任したマルンガ村は、カトマンドゥーから西へバスで1泊2日かかるとのこと。

「たくさんの言語と部族のために統一語として、ヒンディー語とサンスクリット語から造られたネパール語が使われています。発音は難しいけれど文法は日本語に似ています。識字率は低く、多くの村の母親は字が書けない状況でしたね。」12年前に開所した長野県駒ヶ根にある訓練所でネパール語を3ヶ月ほど学んでから赴任されたとのこと。「北部には、それぞれの民族の服を着たモンゴロイド系、南部からはインド・アーリア系が多く大きな眼をした顔たちです。シェルパ族などの山岳民族は冬と夏に移動生活をします。仏教徒は3割、ヒンドゥー教は7割といわれており、カースト制度が日常生活のすべてを支配しており、村や民族により多段階の戒律があり、高カーストほど数多くの制約がありましたね。外国人

日本の国際協力の中では評価されています。地域との相互共存と自助努力を促す組織的なボランティア活動は、ODAの質が問われている今、相手国の真のニーズに合った援助のあり方を示してくれています。そこで2年間の協力活動を終え、昨夏に帰国された3名の隊員の皆さんの活動ぶりを紹介します。私たちの身近な問題になってきた途上国の人々との交流や視点の参考にされてはいかがでしょうか。

はアンタッチャブル！」

基本的な食事は、ごはんと野菜のカレー煮、豆スープ、パンケーキなどですが、この村では、ごはんとタルカリのみで1日2食。肉類や卵は厳禁！果物は豊富だったそうです。



●教室で授業をする森田さん

彼の赴任した村の学校は800人の生徒から成る10年制で、日本の中学生にあたる6、7年生の理科を担当されたとのこと。「村によって教育の差があり、たった1人の教師が1～5年生まで受け持ち、ネパール語を学ぶだけで精一杯、他の授業どころではない。机やイス、黒板もない青空学級…。ネパールは授業以前の問題が多いですね。男子優先の社会で、女子



●夕食をとる子どもたち

は子どもの時から、水汲みや食事の準備、草刈りなどに忙しく、試験にパスできず留年することも多いです。

一番つらかったのは、人が簡単に死んでしまうこと。私は4ヶ月毎に肝炎の予防注射をしていましたが、赤痢にかかり苦しい思いをしましたよ。村では病気につかっただけで死んでしまう。生徒がどんどん簡単に死んでしまう。なんとかしなければ…。まず衛生教育です。村にはトイレが無く、野菜も汚染されていました。子どもから大人へ伝えようと、学校にトイレを村中の人たちと協力して造りました。村人会議にかけ、総出でトイレ資材を運ぶ学校とバス通りまでの2~3kmの道を拡げました。初めて村にトラックが来た。そして多人数の使えるトイレを造り、し尿タンク内で発生したバイオ・ガスを理科室の照明や実験に使ったり、し尿を肥料に使える工夫もしました。大きな事業でも皆が力を合わせればできるんだということで私が村に残してきたひとつのがプログラムだと思ってます。村で、のんびりとしたアジア独特の時の流れを味わい、また、アジアの一員という認識を持つこともでき良かったですね。」

カトマンドゥーの南のクレカニに日本のODAによるダムが、10年前に建設されており、今回は、そのダム湖の事後調査にも通訳として参加されたとのこと。

「工事用の道路と宿舎のための道路ができ、電気がついたなど、山間民族の生活が便利になったようです。その反面、湖

が富栄養化して生態系が壊れて、冷水系の身のしまった美味しい魚が潮上してこなくなり、鯉科などの止水系の魚が増えました。そして下流の小さい川の水量が激減し、水耕農業等に影響が出てきました。村人の生活も変わってきています……。」

「帰国して、自動販売機のジュースの種類の多さにびっくり！物がありすぎる…。地球はひとつの連鎖環境ですから、もっと物を大切に！リサイクルもする必要がありますね。日本人は物質文明に浸りきっていて、問題意識に欠けているのでは。」

〔東京都在住、財サンタ・マリア号協会職員〕

☆30年前の日本にタイムスリップ

みやうち かずよさん
宮内 和代さん

「子どもの時に戦後の東京の下町を見慣れていたせいか、ジャカルタに着いた時は、何のカルチャーショックもなく向こうの生活に溶け込むことができました。」と話す宮内さんは、八千代市に生まれ育った東大病院救急部の看護婦さん。月に10回も夜勤がある激務に耐えながら、春にはママになるというスーパーレディ。

「日本のひと昔前の下町という感じです。



食べ物は、主にチャベ（赤トウガラシ、トマト、塩、醸酵させた小エビをペースト状にしたもの）をごはんや油で揚げたり炒めた肉や野菜にかけます。米は、気候がいいので3~4毛作ができます。ただ、衛生観念に欠けていましたね。手で食事をする。家の中は靴のままや素足で

区別のない

生活。同じ

川の水で、野菜洗いや洗濯、水浴び、トイレを済ませる。トイレと井戸が隣接している。町がゼロメートル地帯で水が悪い上、病院の水道からミミズなどの虫が出てくる…。そのため、アメバ赤痢などの伝染病が多く、チフスはあたりまえで隔離もしません。マラリアは地方に多く、フィラリア虫などの寄生虫も常識を越えた量で、交通事故も多く、弱い人は生きていけませんよ。」

彼女が赴任した救急医療センターは、ODAが無償で建てたもので、1年間、監視に来たと誤解されて困ったとのこと。

「治療費は収入に応じて支払うようになっていましたが、現地の人々にとり、1回で1ヶ月分の給料に相当する高額な費用なので、民間の祈禱所や民間治療薬が多いですね。何といっても医薬品が非常に不足していました。日本からの手術用などの高度な技術の機器がありました。管理保全できず、こわれたり、作動しなかったり、英語の説明書が読めず活用されずに眠っていました。現地語に翻訳した説明書が必要ですね。ちょっとしたきっかけでどんどん良くなるのです。外国へ行ったら、上に立ってはいけませんね。」



●市場で。右は宮内さん

○救急指定・労災指定

医療法人 津田沼中央病院

診療科目／外科・内科・小児科・脳神経外科・整形外科・皮膚科
人間ドック(1泊2日コース・半日コース)

特診…泌尿器科(毎週 水)

診療時間／平日 午前9:00~午後1:00 午後2:00~7:00

土曜 午前9:00~午後1:00

休診日 日曜日・祭日(但し、急患は除く)

〒275 習志野市谷津1丁目8番17号

TEL 0474(76)5111代

*JR津田沼駅歩7分
京成津田沼駅歩8分

いいものを
真心にのせて

暮らしの素材からベターライフ商品まで

駐車場1000台

営業時間 AM10:00~PM8:00

飲食街 AM10:00~PM9:30



イトヨーカドー

津田沼店

TEL.0474(79)3111代

同じ立場でつき合うこと！国が違っても人間としての平等を貫き、偏見を持たないで、押しつけではなく向こうの話を聞く必要がありますね。そして、日本からの援助を決める際、私たちのような現地の経験者の話や意見を取り入れて、より良い援助の方法を検討してほしいですね。」

「イスラム教徒が多いけれど、土着の宗教があるので、巾のある寛大な国民性は、日本人に近い気質を持っています。今、インドネシアでは、階級による規律の中で女性が意識に目ざめ始めています。また人口増加も大きな問題になっています。一番必要なことは、衛生面の普及です。2年間、多くの収穫を得ることができました。」

☆人口の急増に悩む■■■■■

たかだ みねおか
高田 峰夫さん

バングラデシュ
国民の97%がベンガル語を使い、宗教はイスラム教が大半を占め、ヒンドゥー教と仏教が少しづつ。

モンスーン気候

●牛を使う農業
はんらん ひよく
で（雨期には河川の氾濫により肥沃な土地に恵まれ、乾期に入ると雨が降らず40°C以上の高温が続く）国土の90%は牛を使う水田耕作です。住居は竹やジュート（麻）、土などで作られています。都市への人口集中が進み、



●機械の所有者の庭で脱穀の作業

貧富の差が生じて、ダッカでは10%前後がスラム化し、土地を持たない人は60%に達しているそうです。

「率直で好き嫌いのはっきりした人が多く、本音でつきあえる反面、村八分的なこともあります。人間関係は難しいですね。」

食事は、野菜カレーと白ごはん、青とうがらしというのが、一般的パターン。

高田さんは、農村リサーチの分野で入村されました。ODAの依頼で農村リサーチの結果を農村開発アカデミーに報告すると、彼らが問題点を調査した後、実施のためのプロジェクトが組まれるので、「これからは問題は人口の増加。1974年の大飢饉後、緑の革命が始まり収穫量が今までの2倍に増え、それに伴って人口も急増しました。30年間で倍になる勢いです。家族計画と初等教育指導が必要



●小学校の授業

なのですが、追いつかないのが現状です。

民間の援助機関（NGO）のボランティア達による準備教育（世界各地で、学校に行けない人達のための学校）の活動にも出会いました。私たち協力隊のような草の根的援助は、派遣された国の状況に左右されてしまいますね。個人のレベルでは非常に努力しているのですが、なかなか思うように行きませんね。」

日本での短い休暇の後、高田さんは再び、バングラデシュへと旅立って行きました。
〔船橋市在住。慶應義塾大学大学院社会学研究科〕

日本では、ボランティア活動の教育の機会が本当に少ないと思います。今回の青年海外協力隊の皆さんとの協力活動を通して、真のボランティアというものを考えてみませんか！

〈インタビュアー〉 宇井由美子（本誌編集委員）

寺田 邦子（本誌編集委員）

These interviewed reports are from the dedicated young persons who have lived and worked together with the native people for a few years to improve their lives in the developing countries, Nepal, Indonesia and Bangladesh through the activities of Japan Overseas Cooperation Volunteers. Each story surely shows us what is fundamental necessity to help others, as well as what the people in the developing countries want to be done.

きみたちには夢、わたしたちには心。

子どもたちには、力がある。
それも、無限というべき力がある。
しかし、まだそれに気づいていない。
子どもたちには、自分の希望が、現実の目標に姿を変えた時、信じられない方が自分にあることを、そして、素晴らしい自分を実感するだろう。
いま、その時が、やってこようとしている。
輝こうとして、そして輝く子どもたちに、研数学館のスタッフはいる。
子どもたちには夢、わたしたちには心。



▶新設された研数学館津田沼校舎

東武友の会 ケレーンサークル 会員募集中 月々のお積立(2,000円から)で、素敵に暮らしが弾みます。

●1年後、ボーナスか観劇をプレゼント。

1年満期後には、月々のお積立、プラス1ヵ月分のボーナスか都内一流劇場での観劇を

●お買物のご優待もいっぱい。

ショッピングの際にご優待割引をはじめ、特別ご優待会にも優先的にご案内。

●お積立は、銀行自動振替、ご持参のどちらでもOKです。

お問合せ・お申込み 東武友の会カウンター4階 内線6356

TOBU

東武友の会 船橋
千葉県船橋市本町7-1-1 〒273
TEL. 0474-25-2211

研数学館

93年の伝統と実績◆心の通う教育システム

東京校・本部校舎／〒101 東京都千代田区西神田2-8-15 ☎ 03(3261)8000
東京校・本郷校舎／〒113 東京都文京区本郷1-2-1 ☎ 03(3815)8000
津田沼校／〒275 千葉県習志野市谷津1-15-33 ☎ 0474(78)8000

ワールドウォッチング／6カ月間アメリカ滞在記／小原弥生

昨年の6月28日から12月20日まで、アメリカ合衆国で勉強する機会に恵まれました。最初の2ヶ月間は、西海岸のシアトルから飛行機で1時間程のスポークーン市のゴンザカ大学で学びました。その後広大なアメリカ大陸を横断して、9月から東海岸のボストン市にあるボストン大学で4ヶ月間過ごしました。それぞれとても思い出深い体験が出来ました。

スポークーンは、日本あまり耳にしない市ですがとてもきれいな町で、ゴンザカ大学はカトリックの大学で少数精銳の教授と学生の関係がとても良く、家族的な雰囲気でした。ボストンは、ご承知通り大都会で、アメリカ独立の中心となつた町です。観光地も多く、退屈しないで過ごすことが出来ました。もっともボストンでは最後に勉強が忙しくなり、観光どころではありませんでしたが。

その間、興味深かったことを少しご紹介してみたいと思います。

ホームステイのこと…

シアトルから、スポークーン空港に到着すると、上品な老夫婦が近づいてきて、「小原弥生さんですか」と英語で話し掛けてくれました。このご夫妻がこれから2週間お世話になるルーディ＆ミューリエル・ロシング夫妻でした。

ホームステイした家は、外から見ると一階建ての可愛い家のように見えましたが、中に入るととても大きく、地下に部屋がある

あるので、二階建ての家がそのまま地面に埋まっていると考えて下さい。私の部屋は、地下にありました。全く地下というわけではなく、天井の少し下のところに窓があり、日光が差し込み、居間や洗濯室、バスルームもあり快適な住みごこちでした。驚いたことは2週間も滞在する人を泊めるだけの完全独立をした余分な部屋があるということです。

初めての家でとても歓迎を受けてすっかり夜遅くまで話をてしまい、次の日は日曜日でしたので、9時までぐっすりと寝てしまいました。奥さんのミューリエルさんがノックをして起こしてくれたのですが、日本を出てまだ間もないのとまだ眠っていたため、思わず反射的に「はい」と答えました。私は日本語で返事をしました。後で聞いてみると彼女は私が「Hi」と英語で答えたと思ったそうです。思わず2人で笑ってしまいました。

朝食は、テーブルの上にナフキン、スプーン、皿、カップ、マグカップが用意され、毎日好みのシリアル（コーンフレークのようなもの）を選ぶことができました。夕食は、いつもお米を買って置いてくれ、私に日本食を作ってくれました。お陰でホームシックにならないで済みました。後片付けはいつもご主人のルーディがやることになっているようで、私も一緒に手伝いました。

その後は、11時近くまでいろいろと話しました。日本のこと特に聞きたがつて興味津々でした。やはり、これだけ日本に興味があるから、ホームステイを引き受けてくれたのだろうと考えました。

植物園に連れていっていただいたり、教会の仲間のポットラックパーティ、映画、独立記念日（7月4日）のお祭りに参加したり、隣のドロシーさんの家の招かれたり楽しい経験が沢山出来ました。

教会の仲間の集まりは、ロシング夫妻

と同じ年配の方々も多く、どの人も明るくとても会話が弾みます。スポークーン市が西宮市と姉妹都市ということもあって、日本に行ったことがある人が3人おり、親日家が多いように思いました。

西宮市から贈られたという、広い日本庭園もあり、異国で日本庭園を見ると本当にほっとするものです。自分でも日本人だなど再確認しました。習志野もタスカルーサ市に日本庭園を贈ったらどうだろうと考えました。



●オーティスオーチャードにて

このようにして2週間のホームステイはあつという間に過ぎ去ってしまいました。ロシング夫妻とお孫さん2人が見送って下さり、一人ひとり抱き合って別れたときには、お互いに涙がでてしまいました。2週間も一緒に暮らした人々と別れることはつらいことでした。

第2のホームステイ先は、スポークーン市ではなく、オーティスオーチャードというところでダウンタウンから特急バスで35分、停留所から車で10分の山の中という感じの所でした。大学に行くのはまた、ダウンタウンからバスで10分かかりますので、片道1時間30分くらいかかります。家族は、ダッグ&メロディ・ホキンというご夫妻と9歳のコリー、7歳のエイリエルの4人です。この頃は、大学も本格的になり、毎日1教科につき2~3時間かかりました。1日3教科ありますので、毎日の宿題が大変な量で、往復のバスの中でやっても間にあわない



○最初のホストファミリー ロシング夫妻と



スーパー・マーケット

オカヤ

京成実駅前通り 0474(76)8111(代)



サ・ティワン アイスクリーム
BASKIN-ROBBINS
津田沼南口店
☎ 0474(74)1792

という有り様でした。週末こそは頑張ろうとするのですが、週末はホキン一家が必ずどこかへ連れていってくださるのです。ヨット乗り、さくらんぼ狩り、友人の家の小さなパーティ、会社関係のバーベキュー等。日頃疲れているので、リフレッシュさせてあげようということらしいのです。いろいろもてなして下さったのは、とても嬉しかったのですが、一方では宿題をやりたいし、しかし、好意を無駄にしたくないしということで、結局参加しました。ご主人の友達のヨットの中で reading の授業のための宿題をしていたのが失礼なことをしたのではないかと悔やまれます。でも湖を充分楽しみ、コリーとエイリエルが命綱を付けて、深い湖の中で泳いでいるのを微笑ましく眺め充分リフレッシュできました。

大学の講座が一段落した頃、私の子ども達もこのホームステイのお宅を訪ねました。ホキン家の 2 人の子どもと意気投合し、お互いの国の言葉を使いながらも何となく通じ合い一緒に遊んでいました。

一方は英語が分からず、他方は日本語が分からないのですが、日本語と英語で思い思に話しながら、トランプやバレーボールをしたり、2 台の自転車を上手に譲り合いながら 4 人で乗っていました。ファミコンは NINTENDO と呼ばれ、コリーはテレビゲームに夢中でしたが、日本のゲームなのでどうしても日本の子ども達の方が良く知っています。攻略法を言葉も話せないのでやってみせたりしながら、説明していました。やはり、人間理解、国際理解は言葉だけではないのだなと実感しました。



○ボストン イザベラスチュアートミュージアム

こうして、ここで 5 週間過ごしました。ご主人は、毎朝 6 時 45 分にバス停まで車で送って、夕方 7 時にバス停に迎えに来てください、それを 5 週間続けてくれたと思うと本当に頭が下がります。後で分かったことですが、彼は普段 8 時に起きていたとのこと。私がホームステイしている間は 5 時半に起きていました。それを聞くまで、随分早起きの人だなあと思っていた私は本当に暢氣でした。奥さんは、毎日おいしい料理を作つて待っていました。アメリカの主婦は手抜きだなんてことはこの人に限つては当つてしまません。デザートのアップルパイがとてもおいしかったことを思い出します。

この二つの家庭とはアメリカ滞在中も帰国してからも手紙やプレゼントのやりとりが続いています。アメリカで私がお世話になった分、日本にいる外国の人々のお世話が出来たらと思います。それがアメリカでお世話になった人達への恩返しになると思います。

大学のこと…

次に大学についての印象をご紹介したいと思います。ゴンザガ大学でもボストン大学でもまず、教授陣がとてもリラックスして授業をします。自分の名前を「ファーストネームで呼ぶように」と言った先生もいます。私達は Ran とか Gail とか呼んでいました。学生と先生がより身近に感ずるというのがその目的の様に思います。私達が大人の学生だということもありますが…。Mr. とか Dr. とか付けないと呼べない先生ももちろんいらっしゃいました。

また宿題の量ですが、日本の大学に比べたら格段に多く、一つの授業に出席するためには、1 教科平均 2 時間の家庭学習が必要だということです。三つの授業に出るには、6 時間かかる訳です。私は英語が母国語でないので時間がかかり、大変な思いをしました。教師である私は生徒の大変さを身をもって体験した訳で



●ダラスでポーラ先生と

す。やればやるほど結果が期待できるというのも身をもって体験しました。やはり、無駄でないし力がついてくるのです。

一般にアメリカの大学生、大学院生は大変質素でよく勉強します。寮で一緒だった学生達もテスト前に限らず、よく勉強していました。レポートを授業の度に提出するというのもあり、単位を取るということは思ったより大変そうでした。

入学が日本よりも楽だと言われていますが卒業は大変なようです。学士課程や修士課程がとれないでやめてしまう学生もいます。しかし、何年か後再び大学に帰り勉強を始め、コースを終了する人もいます。また経済的な理由で一度やめ、自分で学費を稼いでまた戻ってくる場合もあります。日本では学生という若者というイメージがありますが、「Student」というのはあくまで学ぶ人なのでしょう。

9 月にボストン大学に入つてから週末に、かつて習志野で AET として働いていたポーラ・ハンド先生を訪れました。中・高校生はきっとどこかで会つたことがあると思います。

ポーラ先生はテキサス州ダラスの近くで中学校の先生をなさつており、習志野のみなさんによろしくとのことでした。

6 カ月間での印象はまだ書ききれません。今はあれやこれやが走馬燈のように浮かんできます。いろいろな人達と交流が持てたのが大きな収穫だったと思います。またアメリカの人達の寛大さ、心の広さには本当に感心してしまいました。

〈筆者紹介〉 小原 弥生

市内藤崎在住。習志野市立第四中学校英語科教諭。N. I. A. 会員

税務相談・申告・代理

竹田良美税理士事務所

〒275 習志野市津田沼 5 丁目 9 番 6 号

津田沼ビル 2-1

電話 0474(51)1661

FAX 0474(53)1110

あらゆる旅を
トータルにプロデュース

JTB 津田沼支店

個人・グループ
国内旅行

0474(76)9264

個人・グループ
海外旅行

0474(79)5685

国内・海外団体旅行

0474(76)9515

For Your Travelife



午前10時から午後7時まで営業いたします。

(但し旅行案内は午後6時まで) 定休日は火曜日です。

日本交通公社

コ・ラ・ム／新・東西南北見聞録／ところ変われば……

日本語を話す外国人が
増えている

やまと てつお
山田 哲夫 (秋津在住)

最近、日本語を話す外国人が増えたようだ。私は、初対面の外国人で日本に在住している人には、日本語で話しかけるようにしている。もし、彼が日本語を少しでも勉強していれば、必ず日本語で応答してくれる。そうすれば、その後、そのまま日本語で話しつづけるべきか否かが決められる。ある程度まで日本語ができる、かつ、更に磨きをかけるのに熱心な人には日本語で会話をするようにしている。ただし、仕事上での会話は、英語を混ぜて確認しながら話した方がスムーズに進む。

より多くの外国人が、日本語を習ってくれるのは、大いに歓迎すべきことだと思う。日本が外国に理解されにくいと言われている理由はたくさんあると思うが、その一つに、言葉の問題があることは明らかである。主要国の中で、その国の国語が、その国以外では全く使われていない例は少ない。日本語を直接理解する外国人が一人でも増えれば、それだけ国際交流が進むチャンスが増えたと思っていいと思う。しかしながら、外国人にとって日本語は、実用面から見れば世界でも非常に特殊な言語である。国際的コミュニケーションの70%以上は英語でなされ、残りは、フランス語・スペイン語・中国語等であると言われている。日本語の使用範囲は、非常に限られているというこ

とだ。

私は、時々アメリカ人を気の毒に思う。なぜなら、彼等は外国（少なくともアジアなら）へ行っても、彼等の言葉と通貨でそのまま過ごしてしまうからだ。外国でも母国語だけで過ごせるのは、便利で有利ではあろうが、それだけ、その国を



○左端が山田さん

理解するのを妨げているようだ。だから、日本語のできる外国人が増えている分、日本人も外国語を学んだ方が良いと思う。何語でも良いと思うが、今のところは英語が最も実用的だ。日本で使われているカタカナのほとんどが英語から来ているし、日本から見る限り、国際的コミュニケーションのほとんどは英語でなされている。在日フランス企業でも、オフィスの共通語は英語がほとんどだ。

最後に、私の経験では、読み書きの力に裏付けられていない大人の『英会話』は、時として、大きな誤解を生むようだ。

NEW ZEALAND

とみながみちこ
富永美知子 (香澄在住)

見知らぬ国をちょっと見てみたい——そんな気持をザックに詰め込んで、最初に旅をしたのがニュージーランドでした。しかもたった一人で、言葉も分からぬ私が、思い切って会社を辞め、数ヵ月のつもりで旅をしたのですが、多くの人々に出会い、助けられて、一年半程になってしまいました。特にひとりのすばらしい友に出会ったことが、私の考え方、生き方に影響を与えたようです。

人々と共に生活した中で、何よりも強く感じたことは、誰もが“自分”をしっかりと持っていることです。人に流されたり、人の目を気にしたりせずに。そして、大変質素な生活をしているのに、豊かな心を持っているのです。お金をかけずに気軽にアウトドアスポーツを楽しめます。

ニュージーランドはどこを歩いても美しい、のどかな田園風景が目に入ります。牧場、牧草のために国土のほとんどが開拓され、森林が少ないので。そのためか、どこの家庭にも必ずと言ってもよい程、観葉植物がいくつも置いてあり、庭はきれいに手入れされ、草花が通る人

の目を楽しませてくれます。そして、誰もが通りすがりの見知らぬ私に、笑顔で「おはよう」「こんちは」と声をかけてくれるので。挨拶が一日の生活の基本と考えて

いる私には、大変嬉しいことでした。

最も感動したのは公衆トイレ。どんな奥地に行っても水洗で、しかも綺麗に掃除してあり、安心して使用することができたことでした。また、一年半程の生活の中で、一度も酔っ払いに会わなかつたことです。皆、お酒が好きで友人の家に集まつてはワイワイ騒いでも、けっして、道路や、公衆の場所を汚くすることはないのです。飲み過ぎて、友人の家に迷惑をかけることもありません。日本人と違うな——と感じながら日本に戻りました。また行ってみたい国です。

代々木ゼミ 津田沼校 中学生

新学期 3/4開講
春期講習 3/26開講

選抜テスト日程 3/3(日) 3/10(日) 3/17(日) 受験料 無料

お問い合わせ、選抜テストのお申込みはお電話で
0474-77-8815(大代) 代々木ゼミナル津田沼校中学部
〒275 習志野市谷津1-1-6



津田沼駅前 総合住宅展示場

毎週日曜日住宅金融公庫相談会実施
J R 津田沼駅南口前

センターハウス 電 (74) 1792

会員紹介／こんにちわ、コ・ン・ニ・チ・ワ／みなさん、どうぞよろしく！

中国語でご活躍!!

古市 涼香さん（屋敷在住）

奉天・北京・保定と幼ない時を中国の田舎で過ごした経験が、語学交流講座中国語への入会の動機となったそうです。基礎からきっちり勉強してみると、今までの聞き覚えとはまた違って、一層の向學心が募り、その後、ご自分でも独自に勉強されて、今年6月には準二級の検定テストに挑戦されるそうです。

また、勉強の傍ら、5月に幕張メッセで開かれる世界卓球選手権大会では、180カ国からの選手団が来日するため、それぞれの国別に多勢のボランティアの方がお世話を担当するのですが、古市さんもまた、中国選手団のお世話をなさるそうです。

8月には、古市さんの御家族にとってはなつかしい想い出の地、中国へ、姉妹4人揃ってご旅行の計画があるそうです。今までの、中国語の研修の成果が期待されますね。



●二重橋前にて

写真は、現在中国語を教えて頂いてる先生のお母様が来日され、東京を御案内した時のものです。（もちろん、みなさん中国語で……）。右から、中国語仲間の及川さん、古市さん、先生。（N・T）

ハウディ・コードレスホンパッセR-100（留守番電話機）

ライフスタイルの幅を広げるコードレスホンに留守番機能をプラス。いよいよ充実、多機能化。持ち運び自在の身軽さがフリーな気分にマッチします。

100
電話100年
人と情報の未来へ

■お申し込み・ご相談は局番なしの116番へどうぞ NTT習志野支店



すばらしかったキャンプ旅行／カナダ

太田 一江さん（谷津在住）

カナダ10泊旅行のうち、ホテルに泊ったのは前後の2日間だけで、8泊は自分達でテントを張りました。雄大なカナディアンロッキーの麓、大自然の中に満りきりだった太田さんの幸せいっぱいの夏の写真です。



●大古の姿を残すコロンビア大氷原にて

一行はカナダ人のコックと運転手とガイドを含む25名のバスツアーで、5張りのテントに分宿し、パンクーパー→カンループス→ジャスパー→バンフ→パンクーパーに戻る日程のこと。カナダには、あちらこちらに、広くて美しい景色のキャンプ場があって、トイレはもちろん、シャワー設備からランドリーまであるそうです。夏のキャンプシーズンには、現地の人達も気軽にキャンピングカーでやって来て、家族同士、友達同士で楽しむそうです。

今回のバスツアーでは、毎日、午後3時頃になると必ず土地のスーパーマーケットに立ち寄り、食事当番は、夕食と翌日の朝食・昼食分を仕入れ、当番以外はゆっくりと、土産物を探したり、土地の人達や他のグループの人達と会話を楽しむことができたそうです。（N・T）

中国人のパワーに圧倒されて――

北澤 英晃さん（本大久保在住）

英語が好きで外国人と接したいと思い、夏の英語キャンプを契機に入会した北澤さんは、中国語専攻の一方、ハングル語も学ぶ大学3年生。

「英語キャンプの時の仲間と、何か自分達で企画したいと、昨秋、青少年部会設立の準備委員会を作り会長になりました。春の発足にむけて準備中。ハイキングや祭を企画したいですね。乞うご期待！受身の参加から自主的に、楽しいN.I.A.にしたいので、一緒にやりましょう！」

昨冬、3週間ほど上海・北京を中心对中国へ旅行されたとのこと。「港に着いたとたん、上海なまりのシャワーを浴び、そのパワーに圧倒されて疲れました。全ての面に、中国人は貪欲で、それがパワーの源のようです。街並みは思ったよりも清潔。買物は自分で選べず、共産圏特有の公務員的な感じで、自分でしなくてはならないことが多かった。帰国して、日本の過剰サービスが気になって。ぜいたくな生活に慣れ過ぎていて、ついて行けない感じです。」

貴重な体験を持った頗もしい若者ですね。加油、加油！（頑張れ）（Y・U）



●上海で日本語を学んでいる中国の方（左）と

随時学校見学実施中

学校法人 三楳学園

高専 千葉スクール・オブ・ビジネス

コンピュータ専門学校 ☎0474(51)6481

専門 学校 千葉薬事専門学校

薬学系専門学校 ☎0474(51)4611

N.I.A.活動報告／機内食と博物館ツアー／クリスマスパーティ／会員のつどい／もちつき大会

大好評!!

機内食と博物館ツアー

産業観光部会は、11月23日(金)「機内食体験と博物館ツアー」を実施しました。

天候に恵まれたこの日、約100名のなかから抽選で選ばれた一行45名は、バスでまず芝山の航空博物館へ。ここで、飛行機についての様々なことを知りました。

昼食は、おめあての機内食。成田空港近くのレストランで、エコノミークラスの食事をとりました。機内と同じにセットされた食事に、機内食は初めての人もいて、皆大喜び。

お腹が一杯になった後は、国立佐倉歴史民俗博物館を見学し、晚秋の一日を楽しみました。



●Let's have an Air plane Meal

HOW NICE!

クリスマスパーティ

12月22日(土)、N. I. A. クリスマスパーティが消防会館で開かれました。このパーティは、青少年部会発足準備会が主催したものです。

クリスマスムードいっぱいに飾りつけられた会場には、約100名が集まり、クラッカーを鳴らして開会。学生会員スタッ

フの懸命な進行により、世界の国々に関するクイズなどを楽しみました。

そしてサンタクロースがプレゼントを持って入場。気分は最高潮です。

最後は、照明を暗くしてのキャンドルサービス。

一人ひとりが、ロウソクを手にクリスマスソングを歌い、瞳に映った炎を1990年の記念にして、幕を閉じました。



●ウフフ、にっこり、プレゼント

今年もよろしく N.I.A.会員のつどい

恒例の「会員のつどい」が、1月19日(土)、総務部会の主催により消防会館で開かれました。

たくさんの会員が集まり、約2時間、新年のごあいさつとおしゃべりを楽しみました。

多くの外国人の方も参加してください、日頃、語学交流講座で会話力を鍛えている会員にひっぱりだこ。そこかしこに英会話などが飛びかい、一瞬日本かなと錯覚するほどです。

今年で4歳を迎える国際交流協会の1991年の幕開けにふさわしく、華やかな雰囲気のなかで、会員の輪がひとまわり大きくなりました。



●英語？ 日本語？

日本文化セミナー もちつき大会

日本の文化を在住外国人の方に知ってもらおうと、教育文化部会主催による、「日本文化セミナー もちつき大会」が、2月17日(日)、谷津公民館で開催されました。

この日についた「もち」は、約30kg。ウスとキネは日本でもめずらしくなりました。

できたての「もち」は、アンコやダイコンおろしで皆のお腹に。

外国の方には、ちょっと「もち」は辛かったかもしれません。

会場には、「こま」や「たこ」も用意され、日本の昔からの遊びを、童心にかえって外国の方に教える姿もみられました。



●私も初めてトライ！

三橋眼科医院

院長 三橋正忠

一般診療・コンタクト・検眼

津田沼5-8-25

TEL 52-3026

本場中国の味

中国料理 東魅樓 本館

千葉県船橋市本町4-36-17

TEL 0474(22)3529・3186

11時30分～21時（営業時間）

1991年度 語学交流講座受講生募集

習志野市国際交流協会では、協会報「NIAスクウェア」発行や様々な国際交流行事を通して、市民の方々の国際交流の足場づくりを進めています。

こうした活動の一環として、語学力の向上を目指すだけでなく、講師の先生と受講生または受講生同

士の交流を通して外国語を学び、その成果をそれぞれの立場から国際交流活動に役立てていただくことを目的に、「語学交流講座」を開講します。

あなたもこの機会に外国語を学び、国際交流にチャレンジしてみませんか。

講 座 日 程 表 '91春期（4月～7月）

講 座 名	ク ラス	講 師	曜 日・時 間	会 場	回 数	受 講 費	開 講 日	終 講 日	休 講 日	レ ベル	備 考
英 語	A	マイケル・シュワルツ	金曜日 19:30～21:00	谷津公民館	10	7,000 (6,000)	4/26	7/5	5/3	初級	新規
	B	バーナード・ボイティム	火曜日 14:30～16:00	袖ヶ浦公民館	11	7,600 (6,600)	4/23	7/9	4/30	初級	新規
	C	マイケル・シュワルツ	日曜日 10:00～11:30	大久保公民館	9	6,400 (5,400)	4/28	7/7	5/5 6/9	初級	新規
	D	マイケル・シュワルツ	木曜日 19:30～21:00	大久保公民館	11	7,600 (6,600)	4/25	7/11	5/16	初級	新規
フ ラ ン ス 語	A	坂田 喜子	土曜日 15:30～17:00	袖ヶ浦公民館	12	8,200 (7,200)	4/20	7/13	5/4	中級	継続
	B	坂田 喜子	土曜日 14:00～15:30	袖ヶ浦公民館	12	8,200 (7,200)	4/20	7/13	5/4	初級	新規
ド イ ツ 語	A	齊藤テレシア	土曜日 15:30～17:00	袖ヶ浦公民館	12	8,200 (7,200)	4/20	7/13	5/4	中級	継続
	B	齊藤テレシア	土曜日 13:30～15:00	袖ヶ浦公民館	12	8,200 (7,200)	4/20	7/13	5/4	初級	新規
イタリア語	A	藤村 アルベルタ	木曜日 14:00～15:30	菊田公民館	11	7,600 (6,600)	4/25	7/11	4/30	中級	継続
スペイン語	A	三輪イルマ	土曜日 13:00～14:30	谷津公民館	11	7,600 (6,600)	4/20	7/13	5/4	初級	新規
	B	三輪イルマ	火曜日 10:00～11:30	菊田公民館	9	6,400 (5,400)	4/23	7/9	4/30・5/21 6/18	中級	継続
ロシア語	A	島田イリーナ	土曜日 15:00～16:30	谷津公民館	12	8,200 (7,200)	4/20	7/13	5/4	初級	新規
中 国 語	A	大迫勝弘	木曜日 19:00～20:30	谷津公民館	12	8,200 (7,200)	4/25	7/11		中級	継続
	B	大迫勝弘	土曜日 13:30～15:00	菊田公民館	12	8,200 (7,200)	4/20	7/13	5/4	初級	新規
ハ ン グ ル 語	A	大久保経	水曜日 14:00～15:30	菊田公民館	11	7,600 (6,600)	4/24	7/10	5/29	中級	継続
	B	大久保経	水曜日 15:30～17:00	菊田公民館	11	7,600 (6,600)	4/24	7/10	5/29	初級	新規
外国人のための日本語	A	鈴木 忍	金曜日 10:00～11:30	谷津公民館	11	7,600 (6,600)	4/26	7/12	5/3	中級	継続
	B	岡本和子	火曜日 10:00～11:30	袖ヶ浦公民館	11	7,600 (6,600)	4/23	7/9	4/30	初級	新規

◇今回から、各講座とも年間を通しての募集とします。1年間(春期…4月～7月、秋期…9月～12月、冬期…1月～3月)を受講可能な方、ご応募ください。なお、秋・冬期の日程は決定しないお知らせします。

また、英語については、より多くの方に受講していただくため、以前に受講経験のある方は応募できません。

◇定員は各講座30名で、定員を超えた場合は抽選とします。また、一定の人員

に達しない講座は開講しない場合もあります。

◇受講費には、テキスト代は含みません。受講費欄下段()内の金額は、習志野市国際交流協会会員の受講費です。

◇継続クラスは、欠員分の募集となり、新規の方も受講可能ですが、講座内容が途中からとなり、それに伴う実力を要します。

◇申し込みは、希望講座・クラス名(1

講座1通)、氏名(ふりがな)、住所、電話、生年月日を明記し、受取人の住所、氏名を記入した返信用封筒(62円切手貼付)を同封して、3月15日(必着)までに習志野市国際交流協会事務局に郵送してください。

〒275 習志野市鷺沼1-1-1

習志野市役所総務課内

習志野市国際交流協会事務局

☎ (51) 1151 内線244

YAMATAKE

**山武エンジニアリング株式会社
千葉支店**

支店長 森 久能

〒299-01 千葉県市原市姉崎海岸108
TEL : (0436) 61-5151(代)
FAX : (0436) 62-5681

ビ・ラ・メ
閃き・その一瞬・美身へのパスポート
ビ・ジ・ン

営業種目

- ◆フィットネススタジオ
- ◆マシンジム
- ◆スイミングスクール
- ◆体操教室
- 男女サウナ



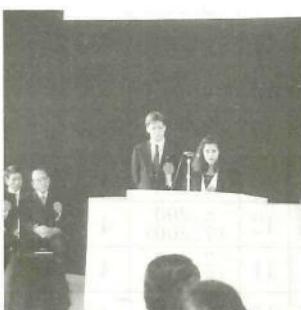
千葉アスレティックセンター
京成大久保駅より徒歩4分
習志野市大久保2-13-1 ☎ 76-2711(代)

タスカルーサ通信／姉妹都市交流の絆「ふれあい橋」

習志野市内に、袖ヶ浦体育館脇から京葉道路を越えて、秋津・香澄地区とを結ぶ美しい橋が完成。昨年12

昭和61年度から工事が進められてきたこの橋は、人と人とのふれあいや国際交流の推進を目指す習志野市の中で、市民の皆さんに親しまれる橋となるようとに願いを込めて、「ふれあい橋」と名付けられました。

橋の両袂、4本の親柱の黒御影石には、1986年4月、タスカルーサ市との末永い



Dear Mayor Mikami
Narashino City Council Members
Citizens of Narashino City

Everyone in your Sister City Tuscaloosa is deeply honored by the dedication of the Bridge of Friendship in Narashino City. It will stand as a monument to the special relationship between our two cities. And just as the Bridge of Friendship links a new section of Narashino City with the older part of the city, it is my hope that our relationship will continue to grow and be linked by the many friends we have in Narashino City.

The Sister City relationship between Narashino City and Tuscaloosa City is enjoyed by all citizens of Tuscaloosa. We feel very fortunate to have been selected as your Sister City. We send to all of you our best wishes for your continued good health, prosperity and friendship.

Sincerely,

Alvin P. DuPont
Mayor



Randall Short君

I feel very privileged to have had the opportunity to deliver Mayor Alvin DuPont's message at the "Fureabashi Ceremony", expressing the appreciation of the citizens of Tuscaloosa, and I greatly enjoyed meeting some of the people who have made this special relationship possible. I am convinced that it is these people who are the real "Fureabashi", the bridges of understanding, friendship, and trust between our two growing cities. I am also thankful to the people of Narashino City for the kindness they have shown to me, and I believe they have proven that the individual can make a positive difference in the improvement of international relations between our two countries.



Wanda Olmedaさん

Mr. Short and I had the pleasure of reading a message from Mayor DuPont at the inauguration of "the friendship bridge". We were very glad to be able to experience such a moment. The bridge of friendship represents the close relationship between the sister cities of Narashino and Tuscaloosa. I hope that this relationship between our two cities will grow stronger. So, in this way we can learn about our different culture, language and way of thinking. I believe it is important to get to know our cultures. Specially, now that we are living in a very critical time for our world. I have seen the relationship between USA and Japan, for the last five years, grow stronger. However, I will like it to grow stronger, not just for business or for helping to get out the hostages out of the Persian Gulf. I will like to see our relationship to grow stronger by the relationship of individuals, between cities like Narashino and Tuscaloosa. It is more personal and more concrete that the relationship that our countries can have as a whole. I hope that in the near future the citizens of Narashino will get interested in going to visit our city, "a typical USA's southern city". Perhaps, you can not find so many shops or disco places as in New York city. However, I am sure you will find as a lot of warm hearts, big smiles and many beautiful sceneries. Narashino citizens you are always welcome in Tuscaloosa. We are waiting to see you soon.

ヘアファッションのクリエーター
ダンディエンタープライズ

- ・ファッショナーマ
- ・ファッショナカット



京成谷津駅 北口駅前 TEL 76-4575

・デザイナーは
あなたです。
ダンディマークが
めじるします。

VOLVO
A car you can believe in.



東邦オート株式会社

■本社
〒281 千葉市幕張西2丁目3番1号
TEL 0472-72-1190(代)
FAX 0472-75-4169

■松戸営業所
〒271 千葉県松戸市松戸2262-11
TEL 0473-69-2400(代)
FAX 0473-69-2411

N.I.A. Information / Take a walk in Narashino

O-hanami (Flower-Viewing)

O-hanami means to go and see the cherry blossoms. In the old days, "flower" was a synonym for plum blossoms. However, cherry blossoms have gradually replaced plum blossoms.

It varies according to locality, but usually cherry trees come into full bloom at the beginning of April. Rows of cherry trees in full bloom present a marvelous sight, just like a picture.

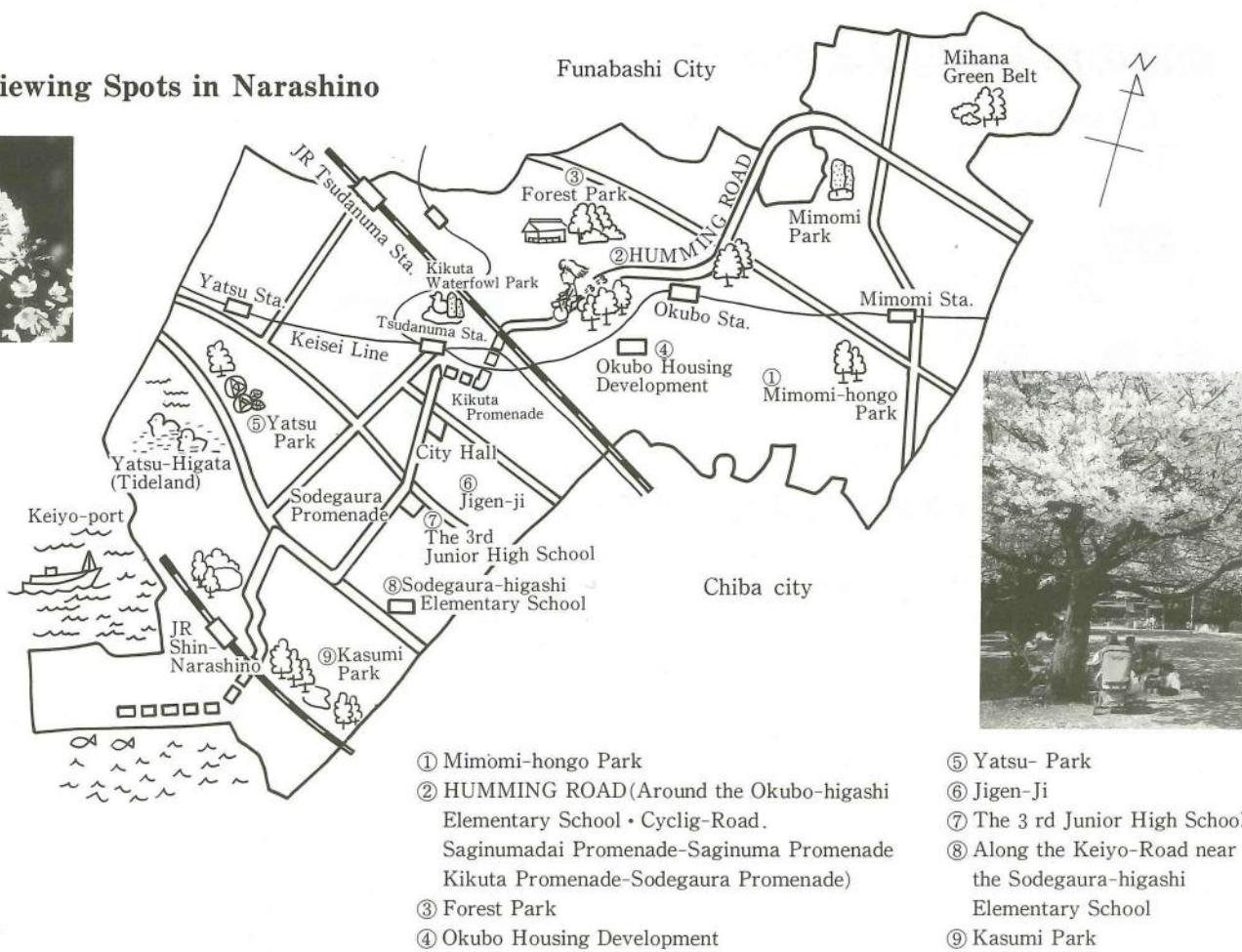
O-hanami has been an annual Japanese custom since the 7th century. Originally, *O-hanami* was an amusement only for aristocrats.

They used to enjoy looking at the cherry blossoms and writing poems all day long.

Even today, people have a good time under the cherry blossom, eating and drinking sake. A straw mat is spread out on the ground under the trees. People put sake, *sushi* and various kinds of food on the mat.

There are many beautiful spots to the cherry blossoms in Narashino City. We would like to introduce some places of them on the map. Why not take a walk to see the cherry blossoms with your family and friends?

Flower-Viewing Spots in Narashino



国際交流へのアクセス グローバル・プロジェクト・グループ

文化交流
企業協力
人材交派
語学研修

グローバル・インターナショナル
グローバル日本語学校(タイ)
ユニ語学院(日本語振興協会認定)
千葉日本能力開発センター

ご相談・お問い合わせ先 TEL (0474)69-5125



Let's チャレンジ／ザ・英文クロスワードパズルNo.13／プレゼント付き!

〈DOWN〉

- To shake : tremble.
- A person living a long time ago.
- A small rocky hill.
- Very grateful to someone for help given.
- Traveler's check.
- Money in Japan.
- To burn incense.
- advantage.
- Any of various types of beer, which is pale in colour.
- City code of Manila.
- To prepare for printing.
- Pianissimo. Pages.

〈ACROSS〉

- Opposite to quality.
- At _____ = immediately.
- Agreement.
- Sharp ; good, quick at understanding.
- Educational Age. (abbreviation)
- A set of things that match each other to make whole.
- To prevent (past tense).
- Persons in general.
- A small spot.

〈出題者〉 大山 玲子（本誌編集委員）

1		2		3	4	5	6
	E			7			
8	9	G	10	F			
11				12	13		
14		B	15				16
	C						
17				H			
18				A	19	D	

〈応募要領〉

◆クロスを解いたあと、A～Hの文字をつなげて、できたことばが解答です。

♥葉書に解答と住所、氏名、年齢、職業、電話番号、また本誌の感想等を書いて送って下さい。1991年4月15日必着。

♠正解者の中から、抽選で1名の方に、姉妹都市提携5周年を記念して、アラバマ大学のリストウォッチを差しあげます。当選者は、6月上旬発行予定の本誌第14号で発表。

♣宛先：〒275習志野市鷺沼1-1-1習志野市役所総務課内「NIAスクウェア」編集部。



前回の解答と当選者の発表 おめでとうございます！

〈解答〉CALENDAR

B	I	R	T	H	D	A	Y
E	S	C	A	P	E		E
L	L			N	A	I	L
I	A	T	A		C	O	L
E	M	O	T	I	O	N	
F		A		T	N		B
	I	S	L	E		A	A
A	N	T	I	M	O	N	Y

〈当選者〉 前回の出題のなかに、まちがいがありました。慎んでおわびいたします。それでも苦労して、応募していただいた方、ありがとうございました。

厳正な抽選の結果、次の方々が

当選されましたので、賞品をお送りします。今回もたくさんのご応募お待ちしております！

阪上 耕三さん（会社員）
福田 正雄くん（小学生）

編集部だより / 本誌へのご意見、ご感想をお寄せください。

姉妹都市へ高校生を派遣

本協会では、この夏、姉妹都市タスカルーサへ市内の高校生を派遣し、ホームステイを行う予定です。

'88年の習志野高校吹奏楽部の訪問に始まった両市間の青少年交流は、国際性豊かな青少年を育てるという協会の大きな目標の一つです。

募集は、本年4月の「広報ならしの」で行う予定です。

多くの高校生の方の応募をお待ちしています。



アミーゴス仮装カーニバル

アミーゴスは、世界の国々の文化や生活などを学び合い、交流を深めるサークルです。

3月8日(金)午前11時から、東習志野コミュニティセンターで「仮装カーニバル」を開きます。

民族衣装か仮装や小物の用意、料理を一品持ち寄って参加しませんか。

連絡先…大久保 ☎(72)8933

宇 井 ☎(75)6930

定例会…毎月第2・4金曜日10時から15時

前号の「こちら国際交流最前線」にご登場いただいたローラさんのお名前の綴が間違っていましたので、ここにおわび申し上げますとともに訂正させていただきます。正確なスペルは、次のとおりです。Laura S. Tallrothさん。



編集アラカルト

●本年は姉妹都市提携5周年。スクウェアも今号で創刊3周年。より充実を目指して！

(M・小林)

●まず、できることから…省エネを含む地球規模の環境保全と外国人労働者の受け入れ。

(Y・宇井)

●この半月は時間との闘いでした。ゆとりって大切ですね。

(K・寺田)

●人と人がお互いに『心』を抱きしめ合って生きて行く。そんな時代にしたいですね。

(F・小野)

●スクウェアを通じて、新しい友達ができるのが楽しみです。今回は中国語勉強中のNICE LADYと。

(N・武田)

●春。別れと出会いの季節。そして花粉症…。

(H・諏訪)

●世界中が人種や国境を越えて、『地球人』になるのはいつなのでしょうか。

(N・井澤)

NIAスクウェア・第13号

発行・1991年3月1日／発行責任者・林 安次
編集責任者・小林 実／企画構成・小林 実

編集・習志野市国際交流協会 総務部会
〒275 習志野市鷺沼1-1-1 習志野市役所総務課内
電話 (0474) 51-1151 内線244